

関西バイオものづくり活性化セミナー

日時

2023年9月12日(火)

セミナー：14:00～16:50
交流会：17:00～18:00

セミナー：無料
交流会：2,000円/人

会場・オンラインの
ハイブリッド開催

会場

島津製作所 本社 大ホール (京都市中京区西ノ京桑原町1)

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の進展により、微生物等の生物機能を最大限に活用した新たな「バイオものづくり」が生まれ、次世代を担う産業として国内外で大きな注目を集めています。関西では、バイオコミュニティ関西 (BiocK) が、バイオ戦略に基づく「グローバルバイオコミュニティ」に認定され、生物・化学・素材系等の企業や大学・研究機関がBiocK分科会等において連携し、バイオものづくりの社会実装に向けた活動が実施されています。

近畿経済産業局でも、令和5年度の重点分野の1つとして「バイオものづくりの早期社会実装に向けた支援」を掲げ、当分野の「機運醸成」「異分野参入」「人材育成」に資する情報発信や交流の場の創出を推進しています。

本セミナーは、バイオものづくりに関心のある皆様(企業、大学・研究機関、支援機関等)を対象に、当局の活動方針や関係機関の取組に加え、バイオものづくりに関連するBiocK各分科会での活動内容・企業事例の紹介を通じて、当分野の「機運醸成」を図ることを目的として開催します。

➤ **14:00～14:05 開会挨拶**

近畿経済産業局長 三浦 章豪

➤ **14:05～14:20 取組紹介**

「バイオものづくりの早期社会実装に向けた支援」

近畿経済産業局 地域経済部 バイオ・医療機器技術振興課長 小谷 純二



➤ **14:20～15:00 ご講演① <BiocK「バイオ産業人材育成分科会」より>
「『培養』バイオものづくりラボにおける人材育成と試作支援」**

大阪工業大学 工学部生命工学科 生物プロセス工学研究室 准教授 長森 英二 氏



➤ **15:10～15:50 ご講演② <BiocK「分析・計測分科会」より>
「バイオものづくりを支える精製工程と計測・分析」**

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事 山本 佳宏 氏



➤ **15:50～16:05 事例紹介 (京都市産技研・京都バイオ計測センターの利用企業)
「小規模事業者の研究事業化 ―モノ取りの簡素化を目指して―」**

ナチュラルプロダクトリサーチ合同会社 代表 中嶋 聡一 氏



➤ **16:05～16:45 ご講演③ <BiocK「分析・計測分科会」より>
「分析計測、自動化、AI技術を活用したバイオものづくりにおける社会貢献」**

株式会社島津製作所 分析計測事業部 ダイアグノスティクス統括部
細胞ビジネスユニット ビジネスユニット長 江連 徹 氏

➤ **16:45～16:50 閉会挨拶**

株式会社島津製作所 常務執行役員CTO 糸井 弘人 氏

➤ **17:00～18:00 交流会・ネットワーキング <リアル会場のみ>**

ご講演①「『培養』バイオものづくりラボにおける人材育成と試作支援」

／大阪工業大学 工学部生命工学科 生物プロセス工学研究室 准教授 長森 英二 氏

バイオプロセス（バイオ生産技術）の開発は、特に新規参入企業にとっては長い期間を要しがちである。NEDOプロジェクト「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発」に参画し、2021年に「バイオものづくりラボ」を開設、バイオリクターを他大学にない数とラインナップで設置した。培養技術者の座学及び実技教育に加え、新規参入企業に向けた技術支援（最適化支援、スケールアップ支援）を推進している。培養技術者を重労働から解放するための周辺環境整備・仕組みづくり・アプリ開発にも取り組む。施設活用を希望される企業・利用者がたどることになる典型的な手続きや事前に必要な情報、開発検討の流れを紹介する。

ご講演②「バイオものづくりを支える精製工程と計測・分析」

／地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事 山本 佳宏 氏

生物を利用した物質生産では、生体に含まれる数万の成分の中から、必要なものを抽出・精製する工程が不可欠になる。精製工程は、有用成分の濃縮や不要成分もしくは妨害物質の除去を目的として最適化するが、標的とする成分、不要成分が分離・分取したどの画分に含まれるか、その把握が極めて重要である。今回は、京都バイオ計測センターに設置された精製に係る設備と共に想定する精製プロセスの概要を紹介する。併せて特に問題となる機能性タンパク質の計測に係る新たな取り組みと核酸の分取に係る新たな分離技術を紹介する。

事例紹介 「小規模事業者の研究事業化 —モノ取りの簡素化を目指して—」

／ナチュラルプロダクトリサーチ合同会社 代表 中嶋 聡一 氏

昨今、バイオものづくりの機運が醸成されつつあるものの、充実した施設や資金の確保ができない一部の小規模事業者にとっては、どこか取り残されたり、自社では不可能と諦めたりする節があるように感じる。今回、京都バイオ計測センターの利用に加え、大学や他企業および個人研究者との協同により、事業規模にかかわらず始められるものづくりや基礎研究の事業化の一端について、弊社の事例をもとに紹介しながら、同時に弊社のバイオものづくりの将来目標の一例を提案する。

ご講演③「分析計測、自動化、AI技術を活用したバイオものづくりにおける社会貢献」

／株式会社島津製作所 分析計測事業部 ダイアグノスティクス統括部 細胞BU BU長 江連 徹 氏

欧州では、2030年に温室効果ガスを1990年対比で55%削減を目指す政策パッケージ「Fit for 55」が出され水素利用の拡大等が進められているなど、全世界的にCO2削減に対するニーズは高まっている。このCO2削減に向けて、微生物等の活用など、バイオ技術をはじめとするクリーンなエネルギー・素材等の生産技術の社会実装が進む中で、当社は各生成物の分析・解析を通じた品質評価プロセスや生産効率向上に資する自動化技術の開発を進めており、本講演ではその当社の取組みに関して、一部、事例も交えて紹介する。

締 切

2023年9月7日（木）まで

人 数

会場：150名
／オンライン：500名

交流会

事前申込制（先着100名まで）
会費：2,000円／名 ※セミナーと併せてお申し込みください

共 催

近畿経済産業局 / 大阪工業大学 / 株式会社島津製作所 / 京都市 / 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 / BiocK分科会（バイオ産業人材育成分科会／分析・計測分科会／ホワイトバイオ分科会／バイオファウンドリ・クラスター分科会）

後 援

バイオコミュニティ関西（BiocK）

協 力

NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 / 公益財団法人都市活力研究所

申込み・アクセス

セミナー・交流会のお申込み及び会場アクセスについては、右記二次元バーコードか下記URLからご確認ください。

(URL) http://www.kansai.meti.go.jp/2-4bio/biomonodukuri/biomonodukuri_kasseika_seminar.html



お問い合わせ：近畿経済産業局 地域経済部 バイオ・医療機器技術振興課 担当：西藤・木下・中西

〒540-8535 大阪市中央区大手前1丁目5番44号 大阪合同庁舎1号館

TEL：06-6966-6163 FAX：06-6966-6097 E-mail：bzl-kin-biomail@meti.go.jp